

# Niigata Award News

(食の新潟国際賞財団通信)



Niigata Award

## 全日程

11月24日(火)

11月25日(水)

表彰式・受賞者記念講演(朱鷺メッセ)

受賞者市内視察(工場見学)

2020/12/14 第37号(第6回表彰式典特集号)

## 第6回食の新潟国際賞表彰事業が開催される



正賞モニュメントを手にする受賞者の皆様  
(左より：矢野裕之氏、中村秋子氏、村上優氏、大坪研一氏、江川和徳氏)

令和2年11月24日に第6回食の新潟国際賞表彰式典及び受賞者記念講演会が新潟市中央区の朱鷺メッセ国際会議室(マリンホール)で開催されました。今回は新型コロナ禍であり、感染拡大防止のための会場設営や出席者数の制限など制約の中、会場参加者のほかオンラインでの中継による参加などでの開催となりました。

式典にはビデオメッセージを含め関係各界からの御来賓や選考委員、財団役員のご出席のもと、厳粛かつ賑やかに滞りなく開催されました。

残念ながら、恒例の受賞者を囲む新型コロナ感染防止のため祝賀交流会は中止とさせて頂きました。

正賞として授与されたトロフィーは、新潟県佐渡市出身の世界的な金属工芸作家であり、東京藝術大学元学長・現文化庁長官の宮田亮平先生によって制作された「シュプリングン」です。テーマは「跳躍。そして希望」。未来に向かって2頭のイルカが力強く宙を舞います。



# 第6回食の新潟国際賞受賞者

## 大賞 | 中村哲・ペシャワール会・PMS (平和医療団・日本)



中村 哲氏：ペシャワール会前現地代表  
PMS (平和医療団・日本) 総院長 (享年73歳)

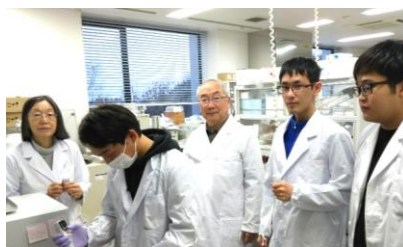


ペシャワール会会長・PMS総院長：村上 優氏 (写真右)  
中村 秋子氏 (写真左)

### 表彰理由

アフガニスタンの大干ばつと内戦による難民の餓死を救うため、緑の耕作地を蘇らせる用水路を建設し食糧生産と農業復興を進め、農民の定住と飢餓と貧困からの脱却など、多くの功績を残し殉職した中村氏の崇高な活動を讃えて、ペシャワール会とPMSの活動の継続を強く支援する。

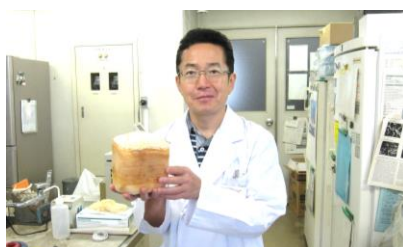
## 佐野藤三郎特別賞 | 大坪 研一 氏 新潟大学自然科学系・フェロー 新潟薬科大学応用生命科学部・特任教授



### 表彰理由

永年にわたるコメの品質・利用研究分野でのコメの①食味評価②DNA品種評価③コメの機能性など多くの研究や加工利用技術分野におけるアジアの第一人者であり、国際研究交流などその普及に大きな功績をあげている。

## 21世紀希望賞 | 矢野 裕之 氏 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 食品加工流通研究領域 食品素材開発ユニット・ユニット長



### 表彰理由

米粉パンの製造技術を開発し、一般消費者の米粉・ホームベーカリー機器を実用化し、国内外に広く普及させた。この技術は小麦アレルギー持つ人たちにも恩恵を与え、SDGsの一つ「すべての人に健康と福祉」の目標にも貢献する。

## 地域未来賞 | 江川 和徳 氏 江川技術士事務所 (農業部門) 所長 元新潟県農業総合研究所 食品研究センター長



### 表彰理由

新潟県の食品加工技術の向上と加工食品の開発と製品化の第一人者である。特にコメ加工食品の低たんぱく質米飯や無菌化包装、餅やトレイ炊飯などの包装米飯の開発を全国一のレベルと規模に押し上げた功績は大きい。

# 第6回食の新潟国際賞 表彰式



表彰式は約80名の各界の御来賓や財団関係者の見守る中、厳かに開会され、池田 弘財団理事長の開会挨拶に続き、唐木英明選考委員長（公益財団法人食の安全・安心財団 理事長）から第6回国際賞の選考経過と報告が行われました。



◀ 表彰授与では池田弘理事長から大賞受賞の中村哲・ペシャワール会・PMS（平和医療団・日本）を代表して、ペシャワール会会長の村上 優氏、並びに故中村 哲氏ご息女の中村 秋子氏に対し、表彰状並びに正賞モニュメント、副賞100万円の目録が贈呈されました。



続いて、佐野藤三郎特別賞受賞者の大坪研一氏には、財団 ▶ 副理事長の田中通泰（亀田製菓(株)代表取締役会長CEO）から表彰状、正賞、副賞100万円の目録が贈呈されました。



◀ 21世紀希望賞受賞者の矢野裕之氏には、財団副理事長の吉田 康（㈱ブルボン代表取締役社長）から表彰状、正賞、副賞100万円の目録が贈呈されました。



そして、第6回から新設されました新潟県内在住者を対象 ▶ とする地域未来賞に受賞者された江川和徳氏には、財団副理事長の中原八一新潟市長から表彰状、正賞、副賞100万円の目録がそれぞれ贈呈されました。



## 第6回食の新潟国際賞 表彰式

表彰授与された後、多くの御来賓の方々からそれぞれ御祝辞をいただきました。



農林水産省 大臣官房  
審議官 松本 雅夫 様



国際連合食糧・農業機関 (FAO)  
駐日連絡事務所長 日比 絵里子 様



国際連合世界食糧計画 (WFP)  
日本事務所 代表 焼家 直絵 様



新潟県副知事 佐久間 豊 様



新潟市長 中原 八一 様



(独) 国際協力機構 (JICA)  
上級審議役 佐藤 正 様



表彰式の閉会にあたり、財団を代表して田中通泰副理事長からの感謝の言葉で表彰式は幕を閉じました。

## 新潟市長を表敬訪問

11月24日午前、受賞者は 表彰式に先立ち、池田弘理事長同行のもと、中原八一新潟市長を表敬するため新潟市役所を訪問しました。表敬訪問は、新潟市役所の市長特別応接室で終始和やかな雰囲気の中で行われました。

中原市長からは新潟市民を代表しての各受賞者へのお祝いの言葉と、食の新潟国際賞の創設意義、今後の研究・活動への激励と期待が述べられました。

受賞者からは、それぞれの喜びと、これまでの活動や研究の取り組みと今後の抱負が語られ、今後国際賞の受賞を契機に さらに活動を続けるとともに「食の新潟国際賞」を発信したいという挨拶がありました。



# 第4回食の新潟国際賞受賞者 特別寄稿

## 「屋内型エビ生産システム（Indoor Shrimp Production System）のその後の進展」

第4回食の新潟国際賞（2016年11月開催）の佐野藤三郎特別賞を受賞したマーシー・ニコル・ワイルダー氏から長年の希望であった事業展開で第1号（新潟県妙高市）に続いてIMTエンジニア取り組む国内のプラント第2号が決定したとの報告がありました。

第2号は関西電力が農業・食料領域に初めて参入し、産学官連携によって開発したISPS技術を採用し、第1号のプラントより数倍の規模になるとのことです。

ワイルダー氏は引き続き、国際貢献的な展開も視野に入れており、今回の結果が今後の研究の大きな励みになったとのこと。

また、「ここまで到達できたのは、食の新潟国際賞財団の支援のお陰であり、改めて財団の皆さまに御礼を伝えていただきたい」とのことです。



## 国際農林水産業研究センター・IMTエンジニアリングが共同開発した屋内型エビ生産システムを関西電力の新事業に採用された喜びについて

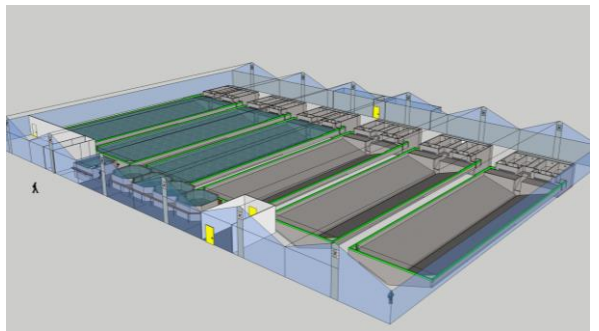
（国研）国際農林水産業研究センター（JIRCAS）  
水産領域 主任研究員 マーシー・ニコル・ワイルダー

2016年11月9日に「食の新潟国際賞佐野藤三郎特別賞」を受賞することによって、私のライフワークである「持続可能なエビ養殖の技術開発」を遂行するうえで大きな奨励を頂き、現在までさらなる基礎・応用研究に取り組んできました。その一環として、最近非常に嬉しいニュースがあり、食の新潟国際賞財団の関係者の皆様へのご報告として寄稿させていただきました。世界的に大きな産業となったエビ養殖ですが、市場規模500万トン（2.5兆円以上）まで成長してきました。発展途上国を中心とした生産国にとってエビ養殖は重要な収入源になっているものの、決して持続性の高い産業ではありません。環境破壊や病気の蔓延など、深刻な事例が山積しています。昨年、「創立10周年記念誌」に述べましたように、この様な問題の解決のため、「ハイテク」で環境へのインパクトを最小限に抑えた世界初の「屋内型エビ生産システム」（Indoor Shrimp Production System: ISPS）を民間企業のIMTエンジニアリングと連携して開発いたしました。その成果の一つとして、2007年9月より、新潟県妙高市にて淡水に近い飼育条件で、海産のバナメイエビを「妙高ゆきエビ®」の銘柄で商業的に生産し、販売を行ってきました。

世界的に魚介類の需要が上昇している中で、国連が掲げているSDGs目標を達成するためにも、環境保全型で持続的な養殖事業の拡大が求められています。世界的な主流とも言える、我々が開発した完全閉鎖循環式の陸上養殖方式が国内外において注目を浴びてきました。そこで、この度関西電力株式会社が農業・食料領域に初めて参入することとなり、産学官連携によって我々が開発したISPS技術を採用した国内の第2号のプラントが実現することとなりました。関西電力は、IMTエンジニアリングとの共同出資による「海幸ゆきのや合同会社」を設立し、静岡県磐田市に拠点を置くということです（2020年10月26日プレス発表）。当面の予定として、2021年1月に新プラントの着工、2022年1月より生産開始、同年の5月に販売を開始することとなっております。なお、現在の妙高プラントより3.5倍の規模になるとのことで、年間80トンの生産量が予定されています。



1) 対象種のバナメイエビ



2) 磐田市エビプラントの概念図（6つの生産レーン）

関西電力のような日本国が誇る一流企業に我々の開発した技術を採用していただきましたことは、何よりもこれまでの私を含めた関係者たちの努力に対する大きな果報であり、大変喜んでおります。これからの進展を心より楽しみにして、さらに日本国内におけるエビの安定的生産の実現や、エビ養殖事業展開による国際貢献を果たしていく所存です。

最後になりますが、「食の新潟国際賞佐野藤三郎特別賞」を頂いてから、私どもの目指す研究開発に理解を示す方たちが増え、実際に国内外から私どもの技術を導入したいという問い合わせが着実に増えております。このように、私どもの研究開発が研究成果及び社会実装の両面においてここまで到達できましたのは、貴財団の暖かいご支援・ご鞭撻のお陰であると認識し、心より関係者の皆様にお礼申し上げます。

## ● 特別会員

亀田製菓(株)	(株)ブルボン	(学)新潟総合学園
一正蒲鉾(株)	サトウ食品(株)	新潟県農業協同組合中央会
(株)第四銀行	(株)栗山米菓	亀田郷土地改良区
(株)新潟日報社	(株)新宣	(株)エイケイ
亀田商工会議所	(株)新潟クボタ	NST新潟総合テレビ
にいがた22の会	(株)日本食糧新聞社	ホテル日航新潟
五十嵐建設工業(株)		

## ● 正会員

新潟市農業協同組合	日本製粉(株)関東支店	麒麟山酒造(株)
新潟県信用組合	日本甜菜製糖(株)	(株)加島屋
(株)第一印刷所	(株)鳥梅	(株)日本フードリンク
(株)本間組	新潟工科大学産学交流会	(株)ディモルギア
石本酒造(株)	(株)キタック	UX新潟テレビ21
(株)ミカサ	北越工業(株)	イカリ消毒(株)
神山物産(株)	丸榮製粉(株)	新潟工科大学
ハセガワ化成工業(株)	新潟万代島総合企画(株)	(株)日本旅行新潟支店
藤屋段ボール(株)	鍋林(株)ヘルスフーズ事業部	(株)田中組
(株)タケショー	TeNYテレビ新潟放送網	(医)愛仁会 亀田第一病院
(株)新潟博報堂	(株)栗田工務店	(株)ひらせいホームセンター
BSN新潟放送	三和薬品(株)	ワタキューセイモア(株) 新潟営業所
新潟陸運(株)	松田産業(株)	(株)エヌエスアイ
(株)新潟食品運輸	セッツカートン(株)新潟工場	
月島食品工業(株)	東邦産業(株)	

## ● 個人会員

古泉 肇	藤島 安之	和田 充彦	井田 増夫	高畑 昭文	廣瀬 利雄	山口 勉	木村 真教
君塚 毅	宗像 寛明	高橋 常考	田村 敏郎	杉本 克己	近藤 鴻	佐藤 珠美	大坪 守
大川 秀雄	大倉 正寿	吉岡 謙一	古口 日出男	坂田 武利	門脇 基二	佐藤 久栄	大谷 勝男
田中 敏明	青木 清	阿部 徳威	佐藤 勉	佐藤 清一	野上 文彰	板井 茂	浅井 善広
佐野 正人	田中 作一	新保 房機	古泉 榮三	今泉 昇	佐藤 純	倉嶋 則昭	塚本 太一
大越 斎	野口 正晴	酒井 定勝	加藤 洋介	長谷川 宏志	齋藤 秀明	松本 裕志	當野 篤
高山 利夫	久保田 紳一	河瀬 三千夫	和澄 孝男	五十嵐 修	望月 健三郎	山田 雄治	長谷部 一裕
鈴木 正二	竹石 松次	古泉 幸代	大森 ゆかり	高橋 慶三	阿部 昭一	渡邊 信也	丸山 美由紀
井浦 康晴	宇野 勝雄	赤塚 義廣	坂井 俊一	鈴木 伸作	佐藤 銀治郎	加藤 寿一	石附 由美子
齋藤 博文	齋藤 幸広	田辺 俊文	小田 静二	渡邊 徹	中村 好彦	栗田 浩	栗田 朋子
阿部 文仁	高尾 茂典	五十嵐 豊	久代 勝英	古泉 幸一	加藤 純子	松島 謙介	高倉 広利
中野 節子	阿部 愛子	大島 煦美子	宮口 澄子	青木 太華子	五十嵐 康子	五十嵐 早苗	佐藤 金治郎
佐藤 文男	高橋 征男	高橋 克郎	田中 洋介	田村 泰生	山岸 尉生	中村 雪絵	村山 浩太郎
稲葉 晋	川崎 千春	秋山 正之	松川 忠史	濱野 剛	山根 憲介	池田 祥護	星野 幸三
糸満 盛人	伊豆 智	小林 哲也	井東 昌樹	遠山 幸男	小野 隆樹	大橋 祐貴	前田 穰
桐原 隆晃	長井 基樹	岸田 良満	樋熊 隆治	小林 宏志	柳澤 敏郎	田中 一幸	遠藤 俊介
葉葦 正幸	星野 聡	高崎 三男	桑原 毅	大日方 聡	石田 道子	須貝 貴之	宮下 好文
中村 祐一	田中 雅史	藤間 佑輔	品田 卓也	渋谷 政道	村山 雄亮	北爪 文義	近藤 正
高橋 佑	荒井 弘美	重泉 篤史	本間 康弘	降旗 亮太	中野 克之	国松 豊	最上 正人
森本 昌章	佐藤 正尚	下條 幸二	廣川 正通	小谷 尚志	高橋 道映	田中 弼	尾崎 清美
佐藤 浩晃	村山 和恵	小林 達	佐藤 善昭	酒井 栄一郎	佐藤 聡	小林 守	阿部 欣也
杉谷 浩一	佐々木 一	金田 季之	宮島 泰	高崎 俊哉	高橋 裕作	小平 勝志	齋藤 文彦
藤田 正明	池田 一史	石崎 宏幸	小嶋 孝代				